

大工技能者等の担い手確保・育成事業等 事業成果報告会 報告書

1. 開催日時・場所

日時：令和4年（2022年）3月8日（火）

場所：AP東京八重洲
東京都中央区京橋1-10-7 KPP八重洲ビル11F

2. 開催目的・概要

【目的】

大工技能者等の担い手確保・育成事業について、大工技能者等の担い手確保・育成に関する取組の水平展開を図ると共に、各事業者における今後の取組の一助とすることを目的としている。

【概要】

今年度の事業内容について全18事業者が発表した。コロナ対策のため、受付では、フェイスシールド着用の受付係が検温を実施した。出席者には手指の消毒及びマスク着用を呼びかけた。各事業者発表後に質疑回答の時間を設けた。

「労働安全衛生法は、どのような講習を行うのか」「講習で使用している木材は、どれか。（A D材なのかKDなのか、グリーン材か）」「受講生の対象として、『工務店に所属する』とは具体的にどういう意味か。正社員なのか。」「講習の内容は、CCUSレベル2と3どちらに合わせているのか。」等、主に工学院大学名誉教授で令和元年度委員長の吉田倬郎氏と芝浦工業大学建築学部建築学科教授で令和元年度委員の蟹澤氏より多数の質問があった。

吉田氏にご講評いただいた。最後に、国土交通省 住宅局 住宅生産課 木造住宅振興室の星川係長より今年度の実施概要及び来年度のスケジュールについてご説明いただいた。

<参加者>

- ・合計：104名
- ・対面：27名（国交省・事務局含む）
- ・Zoom：48名
- ・配信：29名

広く一般に広めるため同時配信も行った。コロナ渦のため、遠方の方がzoomの方が参加しやすいのは当然だが、PCの前に座れば参加できるため、急に都合がついた方など、対面より参加のハードルが低くなったことが原因と思われる。新型コロナウイルスの影響の収束後でも、対面とzoomのハイブリッド開催は、検討の余地がある。

<添付書類>

- ・プログラム
- ・参加者名簿

3. 開催状況

